

すこやかちゃん



ゆうり 悠湊ちゃん(平成21年1月14日生)
 両親=関根康弘・啓子さん〔二〕
 「食べることも寝ることも遊ぶことも
 大好き!!いつもニコニコだよ♡」



ゆい 祐衣ちゃん(平成21年2月4日生)
 両親=大和田 勉・綾子さん〔鍋木〕
 「8か月になりました。
 お散歩、大好き！」



かいと 快斗ちゃん(平成21年4月10日生)
 両親=田村洋介・麻衣さん〔鎌数〕
 「お散歩大好き！
 早く歩いて公園に行きたいな！」

すこやかちゃんを募集しています

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
 対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課にあります。



あさひ浪漫紀行 — 文化財を訪ねて —

11 水神社と古水神

後草の神楽が、2月に水神社で奉納されます。神楽と神社のかかわりについて興味深い点が三つあります。

一つ目は、水神社の北方にある「古水神」の祠です。そもそもは、この場所(あるいはその周辺)に水神宮を祭っていました。近隣に「舞台」「神田」の地名が伝えられており、すでに神楽が奉納されていたこと、水田を経営していたことを推測させます。

二つ目は、鳥居に天和3(1683)年の銘が刻まれていること。寛文10(1670)年の椿の海の干拓工事は、湖水になりわいを頼っていた村々にとって死活問題でした。そのため水田経営については、ため池と水路の整備が天和のころも続けられていました。用水確保は悲願であり、この鳥居は、水不足にならないように祈願して建造されたものと考えられます。

しかしながら、水害に見舞われないように創建された伝承を考えると、干害除けへの願いは異なるため、ご神体の性格を変えることにつながり、「古水神」

◀「古水神」の祠



の地から現在の地へ移すことになった一因と受け取れます。

そして三つ目は、後草の神楽が5月に玉崎神社(飯岡)でも奉納されていることです。水神宮が海食を避けるために、永井から後草に移住してきた人たちにより創建された伝承を裏付けているようです。

後草の神楽が水神社と玉崎神社で奉納されることと、「古水神」の地から現在の地へ移されたことは深い関係があると言えないでしょうか。

参考『海上町史』『飯岡町史』

〔生涯学習課文化振興班〕

暮らしのカレンダー

- 3日(水) 節分会(市内各寺・神社で開催)
- 7日(日) 第21回旭市飯岡しおさいマラソン大会(8:30~いいおかユートピアセンター) 水神社の神楽
- 11日(木) 建国記念の日
- 14日(日) 新川「立ノ前観世音」御開扉
- 16日(火) 市県民税、所得税の申告受け付け開始(~3月15日(月))
- 27日(土) 第5回夕陽・夜景鑑賞会(16:30~飯岡刑部岬展望館)

編集後記

今年も干潟八万石にコハクチヨウが飛来しました。越冬のため旭を訪れたコハクチヨウは、200羽以上いる様子。田んぼのあぜから、そおーつとカメラを向けて写真を撮っている、近くに飛んで来るコハクチヨウの姿も見る事ができました。空を飛ぶ姿は優雅ですが、田んぼの中をキョロキョロと餌を探しながら歩く姿は、とてもかわいらしいです。例年ですと、2月中旬ごろまで見られるようなので、コハクチヨウを驚かせないように、見に行ってみてはいかがでしょうか。(A)